

償却資産申告書の記入例

令和 8 年度  
償却資産申告書（償却資産課税台帳）

※ 所 有 者 コ ー ド  
9999999

受付印

8 年 1 月 日  
佐賀県藤津郡太良町長  
永瀬 孝幸 様

所  
有  
者

1  
（ふりがな）  
住 所  
又は納税通  
知書送付先  
〒849-1698  
さかきんふくづけんたらうおおざたら  
佐賀県藤津郡大字多良〇〇番地〇  
（電話 0954 - 67 - 0349 ）

2  
（ふりがな）  
氏 名  
法人にあつ  
てはその名  
称及び代表  
者の氏名  
たら いちろう  
太良 一郎  
（屋号 茶店 太良 ）

3 個人番号又は  
法人番号  
③ 123456789012

4 事業種目  
(資本金等の金額)  
④ 飲食業  
百万円

5 事業開始  
年 月  
⑤ 平成18 年 6 月

6 この申告に  
応答する者の  
氏名  
⑥ 経理 太良 花子  
(電話 0954 - 67 - 0349 )

7 税理士等の  
氏名  
⑦ 大良税理士事務所  
税理 太郎  
大良町大字多良〇〇番地  
(電話 0954 - 67 - 0311 )

8 短縮耐用年数の承認  
有・無  
⑧ 有・無

9 増加償却の届出  
有・無  
⑨ 有・無

10 非課税該当資産  
有・無  
⑩ 有・無

11 課税標準の特例  
有・無  
⑪ 有・無

12 特別償却又は圧縮記載  
有・無  
⑫ 有・無

13 財務会計上の償却方法  
定率法 定額法  
⑬ 定率法

14 青色申告  
有・無  
⑭ 有・無

資産の種類

取  
得  
価  
格

前年前に取得したもの(イ)  
前年中に減少したもの(ロ)  
前年中に取得したもの(ハ)  
計((イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)

1 構築物  
2 機械及び装置  
3 船舶  
4 航空機  
5 車両及び運搬具  
6 工具、器具及び備品  
7 合計

⑬ 1,500,000  
1,500,000  
650,000  
350,000  
500,000  
800,000  
2,150,000  
350,000  
500,000  
2,300,000

資産の種類

※ 評 価 額 (ホ) ※ 決 定 価 格 (ヘ) ※ 課 税 標 準 額 (ト)

1 構築物  
2 機械及び装置  
3 船舶  
4 航空機  
5 車両及び運搬具  
6 工具、器具及び備品  
7 合計

※電算申告をされる方だけ記入してください。

15 市(区)  
町村内における事業  
所等資産の所在地  
① 太良町大字多良〇〇番地(借地)  
② 太良町大字大浦〇〇番地(借地)  
③  
④

16 借用資産 借主の名称等  
太良リース(株)  
太良町大字多良〇〇番地  
0954 - 67 - 〇〇〇〇  
(有・無)

17 事業所用家屋の  
所有区分  
自己所有 借家

18 備考(添付書類等)  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

【記入上の注意点】

① 住所

内容に誤りや変更があれば訂正してください。必ず電話番号を記入してください。

② 氏名

内容に誤りや変更があれば訂正してください。押印は不要ですが、任意で押印していただいても差し支えありません。  
なお、押印の有無によって効力に影響が生じるものではありません。

③ 個人番号又は法人番号

個人事業主の方 個人番号(12桁)記入してください。  
法人の方 法人番号(13桁)記入してください。 } 28年度から追加された項目

④ 事業種目

具体的に記載し、法人の場合は資本金及び出資金の額を記入してください。

⑤ 事業開始年月

事業を開始した年月を記入してください。

⑥ 応答する者の氏名

申告についての問い合わせにお答えいただける方の氏名、電話番号を記入してください。

⑦ 税理士等の氏名

申告書の作成を税理士等に依頼されている場合は、その方の氏名(法人名)、住所、電話番号を記入してください。

⑧ 「短縮耐用年数の承認」  
から「青色申告」まで

当てはまるものを○で囲んでください。

⑨ 事業所等資産の所在地

太良町内で「①住所」以外に事業所、または償却資産の所在地があれば記入してください。  
(自己所有、借地の別も記入してください)

⑩ 借用資産

どちらかを○で囲み、「有」の場合は貸主(リース会社等)を記入してください。

⑪ 事業所用家屋の所有区分

該当するものを○で囲んでください。

⑫ 備考(添付書類等)

特記することがあれば記入してください。課税標準の特例を受けられる方で、  
必要な添付書類を提出される場合は、添付書類名を記入してください。

⑬ 取得価格(イ)

申告誤りや漏れ等で変更がある場合は、該当箇所に二重線を引き、訂正してください。  
また、その詳細を備考欄に記入してください。

⑭ 取得価格(ロ)

別紙「種類別明細書」で減少した資産の取得価格の合計を資産の種類ごとに記入してください。

⑮ 取得価格(ハ)

別紙「種類別明細書」で増加した資産の取得価格の合計を資産の種類ごとに記入してください。

種類別明細書の記入例

※ 所有者コード			※	令和 8 年度		種類別明細書（増加資産・全資産用）						所 有 者 名		1 枚のうち	
9999999												太良 一郎		1 枚 目	
行番号	資産の種類	資産コード	資 産 の 名 称 等	数量	取得年月	取得価格	耐用年数	減価残存率	価 格	※ 課税標準の特例率	※ 課税標準額	増加事由	摘 要		
1	2	①	厨房設備	②	③	H24.5	④	1,500,000	⑤	8	⑥	1・2 3・4	⑦		
2	6		冷凍庫	1	H26.5	350,000	6					1・2 3・4	R7.7 廃棄		
3	6		テーブル・椅子	5	H26.5	300,000	5					1・2 3・4			
4	6		冷凍庫	1	R3.7	300,000	6					1・2 3・4	申告漏れ		
5	6		電気冷蔵庫	1	R7.9	200,000	2					1・2 3・4	中古取得 (H24)		
6												1・2 3・4			
7												1・2 3・4			
8												1・2 3・4			
9												1・2 3・4			
10												1・2 3・4			
11												1・2 3・4			
12												1・2 3・4			
13												1・2 3・4			
14												1・2 3・4			
15												1・2 3・4			
16												1・2 3・4			
17												1・2 3・4			
18												1・2 3・4			
小 計						2,300,000 2,150,000									

注意 「増加事由」の欄は 1 新品取得 2 中古品取得 3 移動による受け入れ 4 その他いずれかに○印を付けてください

【記入上の注意点】	
① 資産の種類	各資産に次の種類番号を記入してください。 構築物……1 機械及び装置……2 船舶……………3 航空機……4 車両及び運搬具……5 工具、器具及び備品……6
② 資産の名称等	資産の名称や型式などは漢字・数字・英文字で20文字以内で具体的に記入してください。
③ 数量	資産の個数または台数を記入してください。
④ 取得年月	資産を取得した年月を記入してください。なお、年号に数字を使用される場合は、「昭和＝3」・「平成＝4」・「令和＝5」としてください。
⑤ 取得価格	資産の取得に要した金額を記入してください。（単位：円） なお、償却資産の取得価格とは、原則として次によるものとされています。 ・購入した償却資産は、その購入代価（付帯費の額を含む） ・自己の制作、製造等に係る償却資産は、そのために要した原材料費、労務費および経費の 合計額（付帯費の額を含む）
⑥ 耐用年数	資産の耐用年数を記入してください。なお、耐用年数が不明な場合は、摘要欄に資産の詳しい特徴等を記載しておいてください。
⑦ 増加事由	該当する事項を○で囲んでください。 1…新規取得 2…中古取得 3…移動による受け入れ 4…その他
⑧ 摘要	特記することがあれば記入してください。 なお、次に該当する資産については、摘要欄にカッコ内のように記入してください。 ・短縮耐用年数を適用している資産…「短縮」 ・増加償却を適用している資産…「増加償却」 ・非課税に該当する資産…「非課税」 ・課税標準の特例の適用を受ける資産…「特例」 ・市外から移設した資産（同一企業内での移動）…「○市（町・村）から受入」 ・平成20年度税制改正による機械装置の耐用年数修正資産…「税制改正、○年」
その他	廃棄等で減少した資産は二重線で消し、摘要に「○年○月廃棄」などと記入してください。 新規取得資産は、印刷してある資産に続けて記入してください。